



にこにこ通信



就学前乳幼児（0～5歳児）のおられる家庭の子育て支援を行っています。
ふれあいの場、出会いの場、学びの場として、たくさんの方に利用していただきたい
と思っています。ぜひ、みなさん気軽に、遊びに来て下さいね。



自由利用について

月～金曜・土（月2回） 午前9時～午後3時

★自由に遊び来て下さいね。



肌ケアについて

乾燥肌はトラブルのもと

ドライな肌になると、肌のバリア機能が弱くなるため、外部からの刺激を受けるようになってしまいます。お肌の乾燥はさまざまなトラブルのもとになります。しっかり保湿してケアすることが大切です。特に冬は冷たい空気と部屋の暖房のために空気が乾燥しています。皮膚もとても乾燥しやすく、トラブルも多くなるので、保湿ケアが一層大切になります。

肌ケアの大事なポイント

- （1）こすらずにきれいにすること
- （2）保湿・保護すること



口の周りは荒れやすい上に、食べ物がついてしまいます。食物抗原の侵入を防ぐという意味で、食事のときのケアは大切です。口の周りを拭き取る場合は、オイルで湿らせたガーゼを使うと、優しくきれいに拭き取れます。乾いたガーゼだと、肌をこすり刺激を与えてしまいます。また、お風呂のときには、体をこすらずに、手で優しく洗うのも肌の保護になります。

肌トラブルのときには早めに病院へ

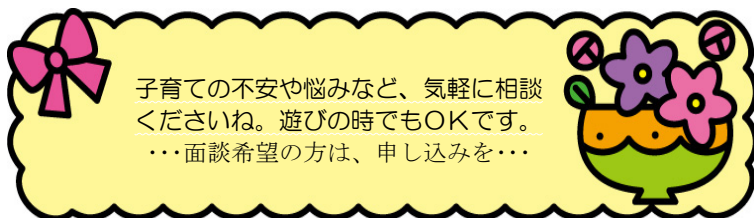
肌が赤みを帯びているときは、炎症を起こしています。これは、保湿剤では治らないので、早めに病院に行って、早く治しましょう。病院でもらった薬は自己判断でやめないようにしましょう。見た目では赤みがひいたからといって治ったとは言いきれません。肌の奥では炎症がくすぶっていることもあるので、薬のやめ方も大切です。また、体質によって、病院でもらった薬が効かなかったり、合わなかったりすることがあります。そのようなときは、医師に相談して薬を変えてもらいましょう。

1月の予定

★天候等により、活動場所・内容が変更になる場合があります。変更内容については、ホームページで、確認することができます。<http://takacho.tokyo.r-cms.jp/kosodate/>

日	月	火	水	木	金	土
	1 元旦	2 1/3 まで 閉館です	3	4	5	6 自由開放 子育てふれあいセンター
7	8 成人の日	9 ・おやこ活動 (H27) 旧中町幼稚園	10 ・おやこ活動 (H28) 旧中町幼稚園	11 ・にこにこ教室 (H23～26) 加美プラザ	12 ★親子あそび 旧中町幼稚園	13
14	15 ・おやこ活動 (H29) 旧中町幼稚園 ・食育 C 子育てふれあいセンター	16 ★旧中町幼稚園で遊ぼう 旧中町幼稚園	17 ★園児交流 みどりこども園	18 ・おやこ活動 (H26) 中児童館	19 ★冬のつどい計画会 子育てふれあいセンター	20 自由開放 子育てふれあいセンター
21	22 ・ほかほか C 子育てふれあいセンター ・おやこ活動 (H29) 旧中町幼稚園	23 ・おやこ活動 (H27) 旧中町幼稚園	24 ・おやこ活動 (H28) 旧中町幼稚園	25 ・にこにこ教室 (H23～26) 旧中町幼稚園	26 ★学習会 旧中町幼稚園	27
28	29 ★赤ちゃん広場 子育てふれあいセンター ★冬のつどい準備会 子育てふれあいセンター	30 ★親子あそび みなみ児童館	31 ・おやこ活動 (H26) 旧中町幼稚園			

★「年度別おやこサークル活動」「自主サークル活動」「にこにこ教室」の内容については、在宅家庭配布の『ほかほかたより』をご覧ください。



家庭相談員にも相談できます

子どもの成長や発達に関すること、家庭をはじめ子どもを取りまく生活環境に対する悩みなど、子どもに関するあらゆる相談があれば、お気軽にご連絡くださいね。

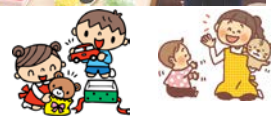
こども未来課 教育委員会 電話 32-2385



旧中町幼稚園で遊ぼう より



親子それぞれのペースで、いろいろなコーナー遊びを楽しみました。手形スタンプ・電車レール・鉄棒・人形遊びなど♪



活動のお知らせ

保育園・幼稚園がお休みの時は、いつでも遊びに来てね。

☆親子あそび…誰でも参加できます。申込不要

と き： 1月12日(金) 10:00~11:30

ところ： 旧中町幼稚園

内 容：「運動あそび」

*体をいっぱい動かして遊びましょう。
赤ちゃんもいっしょに楽しめますよ！



と き： 1月30日(火) 10:00~11:30

ところ： みなみ児童館

内 容：「たきびあそび」

*書き初めをするので、汚れてもいい服できて
くださいね。

持ち物： お茶、おもち(あれば)

☆旧中町幼稚園で遊ぼう…自由に遊びに来てね！

と き： 1月16日(火)

10:00~11:30

ところ： 旧中町幼稚園

遊戯室や園庭で自由に遊べる日です。
それぞれの親子のペースでゆったりと
楽しい時間を過ごしましょう。



☆園児交流会 …申込必要(先着10組)

と き： 1月17日(水) 9:30集合

ところ： みどりこども園

内 容： 5歳児と一緒にあそびましょう

持ち物： 上靴(きれいに洗った靴でもOK)



赤ちゃん広場

と き： 1月29日(月) 10:30~11:00

ところ： 子育てふれあいセンター

内 容： ・身体測定

・スキンシップあそび

・おはなししましょう

その後センターで自由遊び

*誰でも参加できます。気軽にお越しくださいね。



☆学習会 …申込必要

と き： 1月26日(金) 10:00~11:30

ところ： 旧中町幼稚園

内 容： 「就学前の子どもにとって大切なこと」

講 師： 細尾 道広氏(青少年育成センター所長)

*教育現場の経験から、就学するまでに大切に
したい親子のかかわりをお話しいたします。

【申込み・問合せ】
多可町子育てふれあいセンター
37-2525



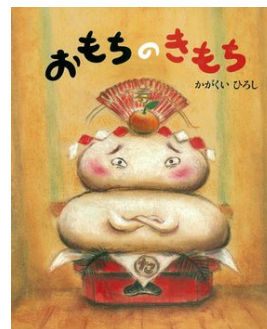
「ないしょでんしゃ」

作： 薫 くみこ

絵： かとうようこ

出版社： ひさかたチャイルド

「もりのてつどう」は、明日から冬休み。
大掃除を終えた駅長さんはほっと一
息。赤い電車の中でいつの間にか眠
ってしまいました。すると、「シー ゴ
ン、ナイショ ナイショ…」電車がゆっ
くり動き出しました。目を覚ました駅長
さんはびっくり！ 雪だるま君が運転
しているのです。電車は、駅長さんの
知らないないしょの駅で大勢の雪だる
またちを乗せ、ないしょの山を登り、ジ
ェットコースターのように駆け下り、そ
して真っ暗なトンネルを抜けると…。



「おもちのきもち」

作：かがい ひろし

出版社： 講談社

お正月になれば、床の間に鎮座
まします「かがみもち」。二段にな
った、真っ白で大きなおもち。頭
にはみかんとおめでたい扇子。
堂々として立派なものです。
でも、なんだか浮かぬ顔をして
いるみたい。

「かがみもち」にも悩みがあるの
でしょうか。

いや、そもそもおもちに「きもち」
なんてあるの？…それが、ある
みたいです！？

子どもの「ありのまま」を認めよう

～子どもだけでなく、自分自身の思いも、丸ごと受け止めることが大切です～

子育てがうまくいくコツを1つあげるとすれば、私は「ありのままを認めること」だと思っています。仮にお子さんが、自分を困らせることばかりする子どもだったとしても、その姿を丸ごと受け止め、認めるのです。そして、そんな子どものことを「困った子ども」「育てにくい子ども」と思ったなら、その気持ちも認めましょう。子育てがうまくいかない現状も、全て丸ごと認めてほしいと思います。

笑顔の子育ては認めることから始まる

一番よくないのは、否定をすることです。子育てでなくても、否定をすると出てくるのは不平や不満です。お子さんのことを否定的な目で見てしまうと、子どもを叱ることばかりが増え、自分もしんどくなってしまいます。でも、認めるとあら不思議。笑顔が出てきます。「笑顔の子育て」とよく言われますが、それは認めることから始まるのです。

認めるのは簡単です。子どもへの見方や視点をほんの少し変えるだけでいいのです。するとすべての景色が大きく変わっていきます。

視点を変える方法

～決して悪気はない。「心のままに動いただけ」と思おう～

子どもは「こうしたい」と思ったことを、すぐに実行します。「触りたい」と思ったら触り、「暴れたい」と思ったら暴れます。「笑いたい」と思えば笑います。悪気はないのです。「でも、ちょっと我慢しよう」という自己統制力が年齢とともに身につきますが、その力は弱い子どもと強い子どもがいます。その違いは、5歳くらいまでは本人の努力よりも、生まれつきのものであることが多いもの。「わが子は弱いほう」と思えば、「1つのことを丁寧に何度でも伝える」ということをやってみましょう。

“ないもの探し”をせず、“あるもの満足”で子育てを

～どんな子にも、数えきれないほどの「いいところ」が必ずあります～

保育士時代、多くの子どもたちと接してきて一番感心したことは「子どもは“ないもの探し”をせず“あるもの満足”をする」ということです。たとえば、夏のプール遊びは6畳ほどの狭いプールに20人くらいが入るのですが、「狭いね」「泳げないね」などと不平や不満を言うのは大人ばかり。子どもからは1つも文句が出ないどころか、ずっと笑顔で楽しんでいます。

子どもは、自分に与えられた環境がどんなに過酷なものであっても、その中に必ずある“笑顔のもと”を探し、それを楽しむのが習慣になっているのです。プール遊びでも、「水が冷たくて気持ちいい」「友達とぶつかったらそれも楽しい」と楽しい部分を味わい、狭いことなんて気にしないのです。雨が降っても、決して文句は言わず、長靴を履けたり傘を差せたりすることも喜びます。人に対しても同じで、親でも先生でも、「困ったところ」より「いいところ」を見るので、必ず大好きになります。

反対に私たち大人は、自分の前にあるものに対して、さっきのプールのようにまずは“不満点探し”から入ります。「暑い!」「寒い!」と自然にまで文句を言います。子どもに対しては、「困った点」や「問題点」ばかりを見つめ、つい小言の毎日になってしまっていないでしょうか。

確かに、子どもは「困ること」をよくします。親から見て、「困った性格」だと思うこともあるでしょう。でも「困るところ」ばかりを見ないで、「いいところ」を見るようにしてみてください。すると「心が優しい」「とても気が利く」「いつもいい返事をする」「きちんと挨拶ができる」など、無数に見つかるのではないのでしょうか。子どもたちが毎日あれだけよく笑うのは、いつも“あるもの満足”で生きているからです。わが子のことはもちろん、すべてのものを「あるもの満足」の目で見ながら生活をすると、きっと毎日を笑顔で過ごせますよ。